穴埋めしている。は、市郊外を結ぶ線や4号線を整備

つある」
上方修正

のトラックじており、出」の回復る。投資」は、譲マンシが堅調で、も持ち直る。

樹支店長は最近の円安にはプラ、県内の景きになるがしを示しフンを通じ交流した方育ち、こがれて同時にラ32年目になる。「限間をいかに使うか」と、来年以降もディスプレイにける。

平成25年2月16日 読売新聞掲載

市内の石材店 慰霊碑寄贈

岩手の震災犠牲者墓地

岩手県陸前高田市の普門寺で行われた開眼供養

岩手県陸前高田市の普門寺に東日本大震災で犠牲となった身元不明の遺骨を納める無縁墓地が完成し、15日、寺が預かっている14柱が納められた。

普門寺は震災直後から、市の要請で身元が分からない遺骨を受け入れている。一時は360柱に上り、市が昨年2月から境内の土地約550平方㍍を借りて墓地を整備してきた。

市内では、1556人が犠牲となり今も217人の行方が分かっていない。墓地の一角には、川崎市の阿部石材店（阿部勝社長）から寄贈を受けた高さ約1・5㍍の慰霊碑も建立され、犠牲者の霊を慰めている。

この日の法要には、市や寺の関係者ら約40人が参列。熊谷光洋住職(61)が慰霊碑の前で開眼供養を営んだ後、14柱の遺骨が墓に納められた。熊谷住職は「14人の犠牲者がやっと土に返ることができた。いつか家族の元に帰ってもらいたい」と話した。

葬儀式場 ほうさい殿
葬儀の板橋
0120(20)7676

発表によると、システムを再リースするため2011年7月に行った一般競争入札が不調となった後、県の財務規則に基づいて再度入札を行うべきだったが、発注期限が迫っていたため同校の担当者が緊急に随意契約を結ぶ必要があると思い違いした。

調査結果では、事務の遅れは緊急のケースではなく、随意契約は誤りだったとした。契約額が予定価格と同額になった理由は、業者が担当者と電話でやりとり

浜銀行、神奈とそれぞれ15通報などで被と捜査の円滑定を締結した不正アクセスグ詐欺などの遭った場合かに通報し、し、被害拡大に犯人検挙に

この日の締小笠原晃生活定書を交換し川村健一リス「インターネグの利用が広り、県警との被害を防ぎた。県警サイセンターにより今年の不正送月25日までだ万円。昨年10万円だったしている。全1月25日まで万円と増加傾

アパー
焼け跡

15日午前3浜市緑区台村「つきみ荘」

平成25年2月16日 朝日新聞掲載

いまだ身元不明 14人の遺骨供養

陸前高田

身元がわからず無縁墓地に納められる14人の遺骨＝15日午後、岩手県陸前高田市

東日本大震災で犠牲になり、今も身元がわからない14人の無縁墓地が岩手県陸前高田市の曹洞宗普門寺につくられ、納骨式が15日あった。行方不明の家族を捜す人たちも手を合わせられる場になればと、慰霊碑も建てられた。

寺は市の依頼で震災直後から身元不明の遺骨を預かり一時は360柱を引き受けた。多くは家族の元に戻ったが、14柱は本堂に置かれてきた。今後身元がわかれば家族に引き渡される。

判決によると、男性は2一と主張。これに対し、判決

駆けつけると、玄関付近に倒れていた早川さんが「刺された。犯人は家にいる」と告げ、直後に家から出てきた男が近所の人をにらみ、早足で去ったという。男は白っぽいジャンパー姿で60歳ぐらいに見えたという。

将棋の加藤九段 歴代単独2位に

1309勝目

将棋の加藤一二三・九段(73)が15日の対局で藤森哲也四段(25)に勝

800名様 ご招待(無料)
第1部 講演会
座長：齋藤 康先生（千葉大学長） 中村